

知床の窓から見えるもの

2014年9月24日（水曜日）

「ありがとう！羅臼！」

平成24年7月の新診療所開設から、診療所の3階にある通所リハビリセンターで働いているリハビリの技師です。

この度、釧路への転勤のため、約2年間お世話になった羅臼町を離れることになりました。この2年間、リハビリに通って下さった利用者様、患者様、ご家族の方、診療所職員、町民の皆様にはお世話になってばかりでした。改めて、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

羅臼といえば、「美味しい魚」や「絶景のある大自然」などが有名ですが、私がこの2年間で感じた魅力は、「人のあたたかさ」です。住んでみて、町民さんの人の優しさが感じられました。

そして、以前のブログでも書かせて頂きましたが、羅臼の人達は皆さん一生懸命です。リハビリに通って下さる利用者様と関わっているとよくわかります。大自然に囲まれて、朝早くから夜遅くまで働いていた経験、さらには脳卒中という重い病気にも負けず、たくさんの苦労や試練を乗り越え、一日一日の生活に対してのやる気が満ち溢れています。

最後になりますが、羅臼町の素晴らしい利用者様、患者様、ご家族の方、診療所職員、町民の皆様から多くのことを学ばせて頂きました。9月いっぱい羅臼の地を離れることになりますが、羅臼での2年間の思い出、そして羅臼町の人達のあたたかさは一生忘れません。僕は、羅臼町が第2の故郷だと思っています。本当に、2年間ありがとうございました。すべての人に感謝！！

